

3年 身の回りの生物

1/8時

「昆虫のなかまを見つけよう」

本時のねらい

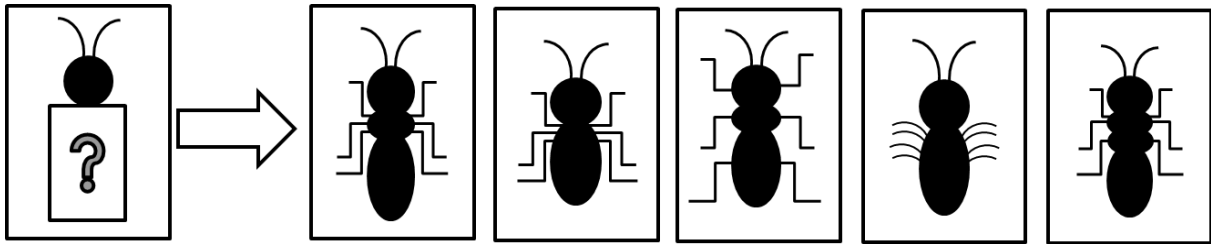
身の回りの生物の様子から、昆虫の体のつくりについて問題を見だし、予想や仮説を基に調べる方法を発想することができる。

事象提示のねらい

- ・チョウの体のつくりを想起してからアリの体のつくりを想像してかかせることで、アリの体のつくりに関心を持たせ、児童に問題を見いださせる。
- ・チョウと同じくアリも昆虫なのかどうかを考えさせることで、アリの観察する際の観点を児童に発想させる。

事象提示

- ・アリの体のつくりを想像しながら絵に表し、互いの絵を見比べる。→㊦
- ※羽がないために捕獲や観察が容易にでき、児童一人一人に実物を見せることが可能なアリを使用する。



疑問や好奇心を持つ

教師の働き掛け

児童の思考の流れ

既習事項

チョウの成虫の体のつくりを想起させる。→㊥

- ・頭、胸、腹からできている。
- ・胸にあしが6本ある。

指示

アリの頭だけをかいた用紙を全員に配付し、頭から下はどうなっているかを考えながら続きをかかせる。

- ・アリの体も頭、胸、腹からできていそうだな。
- ・アリのあしもチョウと同じように胸にありそう。

※児童が取り組みやすいように、教師が準備する絵は簡易的なものがよい。
※児童が迷わないように「上から見た絵」をかくことを確認する。

事象提示

児童がかいた絵を黒板に提示し、共通点や差異点などを発表させる。

- ・あしの数が違う。
- ・体が2つに分かれているものと3つに分かれているものがある。
- ・あしが胸にあるものと、別のところにあるものがある。

<見方・考え方>

各自がかいたアリの絵の比較

